

令和2年度 作物栽培管理情報第8号

令和2年12月発行

大分県中部振興局 集落営農・農地活用班

2. 農作業安全対策その2

1) 栽培終了後の、農業機械の保全 ~不具合を来年に持ち越さないために~

(1) 栽培終了後の整備・保管 ※放置せず、適切な整備で来年作も快調に!

農業機械を使い終わったら

1. 屋内保管が大原則

- ・短期間でも防水シートの内側に溜まった湿気で外装及び内部に傷みが生じます。余分な修理費が発生し、最悪の場合高額な機械が全損することもあります。

2. 使い残り燃料の扱いは、種類に応じ適切に

- ・ガソリンは変質しやすい上、気化することにより爆発事故等の原因となります。保管前に機械を動かし、完全に使い切りましょう。
- ・軽油は来年再始動しやすくするため、足して満タン状態を保ちましょう。

注意⇒保管場所は火気厳禁です。また防火対策も忘れず行いましょう。

3. 作動オイルは栽培終了と同時に交換

- ・オイル内にたまったゴミが機械の各部に詰まり、不具合の原因となります。栽培終了を機会に交換し、最適な状態を保ちましょう。

4. 汚れ落としは念入りに、注意深く

- ・泥等の汚れは付けたままにせず、保管前に全て落としておきましょう。
- ・機械には湿気で故障する部分（回路基板・作動ワイヤーの根元等）があります。水をかける場合は、慎重に行いましょう。

5. 差して寝かせて効く潤滑油

- ・潤滑油が可動部を完全に覆うまで時間が必要です。注油して来年を待ちましょう。

6. バッテリーは完全に充電し、機械から取り外し保管

- ・放電による消耗や劣化を防ぎ、来年速やかに動けるようにしておきましょう。

7. ネズミ対策

- ・農作物目当てで侵入します。配線をかじる等により機械を破損させ、糞等で不衛生にもなります。清掃及び殺そ剤・粘着シート等による駆除を徹底しましょう。

8. 耕耘爪等すり減る部分の点検及び交換

- ・作業効率や安全性を左右する重要な部分です。来年慌てないよう準備しましょう。

ポイント

- ・収穫期と並び、来年の栽培開始前後は農機メーカーも繁忙期で不具合が発生しても素早い対応が困難です。また栽培開始時の不具合による作業の遅れ等が、その後の栽培管理にも影響します。
- ・保管時に適切な整備を行い、快調な栽培開始と修繕費用等の節減を図りましょう。

(2) 整備・保管時の事故防止 ※機械も人も事故なく安全に

安全な整備を行うために

9. 整備場所の選定

- ・保管庫内等の狭い場所では無理な体勢となりやすく、外した部品の紛失や破損また本人のケガ等の事故が起きやすくなります。

10. 取扱説明書を確認しつつ整備

- ・機械は手順どおりに扱わないと思わぬ動きをすることがあります。また思い込みで分解、整備後に組み立てても正常に動かなくなります。
- ・取扱説明書を確認しながら行い、ケガ等の事故や整備後の不具合をなくしましょう。

ポイント

- ・農閑期の時間的余裕を活用し、来年産の快調なスタートに備えましょう。